

社会福祉協議会 社協だより

平成27年11月15日発行 社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東5条3丁目 サポートセンターしべつ内(TEL22-3012)
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>



士別中学生・高校生ワークキャンプ



11月7日(土)～8日(日)の二日間、士別市社会福祉協議会・士別市ボランティアセンター主催の「士別中学生・高校生ワークキャンプ」が開催されました。

ワークキャンプは、市内の中高生に、様々な方とのふれあいを通して、福祉への関心や、ボランティアに取り組むきっかけづくりをしてもらうことを目的に、毎年実施しています。

今年は、コミュニティ・4・チルドレンの菅原さんと、ウェルビーデザインの篠原さんを講師に招き、「災害発生！‘もしも’のとき、何ができるか考えよう～みんなが食べられる災害食について学ぼう～」と題し、災害食について学びました。

お話を聴くだけでなく、参加した学生が考えた災害食を実際に調理し、地域の方に試食していただく場面もありました。

権利擁護研修会

1市3町（土別市・剣淵町・和寒町・幌加内町）社会福祉協議会が9月29日、市民文化センターで、認知症や障がい等で判断能力の低下により日常生活に不安をかかえている方の権利を守り、住み慣れた地域で安心して生活できるように支援することを目的に、「権利擁護研修会」を開催いたしました。



研修会には、民生委員、介護保険事業所職員、市民及び社協職員など、約80人が参加しました。

研修会では、2つのテーマについて講演が行われ、始めに「実践を通じての日常生活自立支援事業について」をテーマに土別市社協の自立生活支援専門員、寺口直幸主幹と和寒社協の生活支援員、精進亜希地域福祉係長が事業の目的や、支援活動内容のほか、実践事例を通じた注意

点、課題などを講話しました。

続いて、「旭川成年後見支援センター及び市民後見人の活動について」をテーマに、松林邦明センター長が、成年後見人制度が必要になった社会的背景、対象要件、利用実績や市民後見人活動の必要性、支援体制などについて講話しました。参加者は、熱心に聞き入り自立支援制度や成年後見人制度について、理解を深めていました。



社協なんでも Q&A ⑨ 「福祉の店シュペツ」ってなあに？

西條百貨店土別店の2階、エレベーター付近にある、「福祉の店シュペツ」をご存じでしょうか？

同店のご厚意により、平成9年2月にオープンした「福祉のお店」です。

店では、つくも園や土別愛成会るんべるなど、土別を中心とした施設や作業所を利用する方の作品を販売しています。クッキーやトマトジュースなどの食品や、ストラップやキーホルダーなどの可愛い小物、セッケンなどの日用品…。手づくりならではの、心のこもったあたたかい商品がたくさんあります。

「シュペツ」は、「障がい者の雇用促進」を目的に運営しており、現在、身体障がい者2名、知的障がい者3名、精神障がい者1名が店員として活躍しています。

開設から現在まで、関係機関の皆さまを始め、多くの方にご協力いただきました。今後とも、どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

西條土別店にお立ち寄りの際は、ぜひお越しください。店員一同、笑顔でお待ちしています。



季節ならではの商品も。現在は、リースや木製のクリスマスツリーなどのクリスマスグッズが、店頭と並んでいます。▲

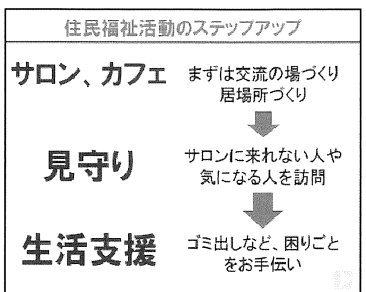
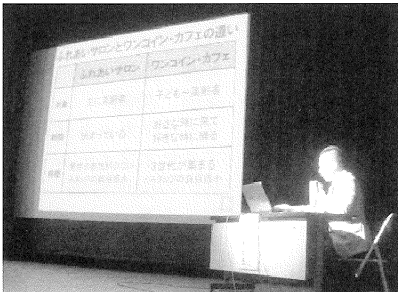
ボランティアセンター『掲示板』

「第37回住民福祉活動を進めるつどい」開催

10月16日(金)第37回住民福祉活動を進めるつどいが開催されました。講師は、滋賀県高島市社会福祉協議会の杉本学士(みちお)さん。「住民主体の地域づくり」たかしま流見守りネットワークとは」と題し、地域福祉活動、特に見守り活動に関して、お話ししていただきました。高島市は人口約五万一千人、高齢化率は約30%。地域の方々が互いに支えあうしくみとして、サロンやカフェ等での居場所づくりに力を入れている。百円払えば、好きな時間に来て、好きな時間に帰れるワンコイン・カフェは、月一回開催され、とても人気がある。

運営はボランティアの方々。対象は、高齢者のみならず、地域の子供たちも集い、大盛況である。こういった活動により、高齢者も社会参加することで、健康維持や介護予防に繋がるとともに、行政サービスだけに依存しない取り組みが行えている。また、地域の繋がりが強くなることで、災害などの「いざ」というときの備えにもなっている。

このような活動を進めるためには、お金が不可欠であるが、高島市社協では、「赤い羽根たかしま見守り募金」を開設し、地元の郵便局や商店・企業も、「寄付つき商品」といった形で協賛を行い、市民・企業などによる募金活動の協力体制が、しっかり確立されている。先進地の高島市の実践について、参加者は熱心に耳を傾けていました。



第34回 歳末チャリティー

ふれあい演芸会

入場料 500円

12月6日(日)10:30~15:00

(開場9:30)

会場 士別市民文化センター大ホール

益金を「歳末助け合い募金」として、士別市共同募金委員会へ寄付します。募金に協力しながら、一緒に演奏や踊りなどのステージを楽しみませんか？

主催 ボランティアサークルむぎの会

後援 士別市 士別市民生委員児童委員協議会 士別市社会福祉協議会 士別市共同募金委員会

お問い合わせ ボランティアサークルむぎの会事務局 士別市東5条3丁目1-1 士別市社会福祉協議会内(生方・古川) ☎ 22-3012 fax 22-3019

歳末チャリティー 第31回

カラオケ選手権大会

12/13(日) 13:00~16:00

(開場 11:30)

士別市民文化センター 大ホール 入場料 500円

賛助出演 日本現代舞踊 徳本流すずらん会

本大会の益金は、歳末助けあい募金として、士別市共同募金委員会に金額寄付いたします。

主催 しべつふれあいの会

後援：士別市 士別市共同募金委員会 士別市社会福祉協議会

お問い合わせ：しべつふれあいの会事務局 士別市東5条3丁目1-1 士別市社会福祉協議会内(生方・古川) ☎ 22-3012 fax 22-3019

